



水難事故注意報発令中(静岡県)

2023年6月1日より

水難事故未然防止に協力をお願い

今年は早い時期から台風の影響で高波・強風を狙い、海に足を運ぶ方も増えています。

コロナが5類感染症移行となり、外出制限など無くなりました、アウトドアスポーツ等を楽しむ方、外出者が増えていることを日々実感し確実に海なども賑わっております。巷では、ネット販売等で道具を購入し安全対策やルールの知識を得ずにマリンスポーツを俄かに楽しむ愛好家も目立ちはじめだけでなく、思う様に操作できない方が多いなど等との問題が生じている事を、船舶関係者から、よく耳にします。海水浴場のブイの中に流されてはってしまう事もよくあります。ウインドサーフィンだけでなく、多くのマリンスポーツ初心者には付き物です、、事前に優しく安全第一、シーマンシップで声掛けして下さい。中・上級者の方々にも気にして頂ければならない行為も、ちよくちよく見受けられます。



■航路には、もちろん近づかない事、船舶の往来が特に多い所、港に帰港するための導線、通航上の妨げや必ず船舶が通る進路を塞ぐような行為を見かけます。

走る船舶からは自分に気づいていないと思ってください。視覚は狭いです。

優先順位もありますが、ひかれてからでは、すでに遅いのでセルフディフェンスが大事です

■静岡県での昨年の海上安全指導員の会合にて、ご意見を頂いております。

「SUPの横を猛スピード走り抜けるウインドサーフィンがとても危険に見える」

上記について接触事故が起きてからでは遅い為、技量等にも関係いたしますが、できる限り安全第一で他のマリンスポーツへの必要以上の接近は避けて頂くようお願いいたします。

■風を使うウインドサーファーにはスターボード優先というルールがあります

海上の優先順位はスターボード艇優先の原則が基本であり、

セーリング競技ではこれに合わせスターボード艇、先行艇、風下進行艇、沖合への進行艇の優先となっており、水上衝突を防止するための「3大ルール」と呼ばれる決まりがあるが、ウインドサーフィン同士の衝突を避ける上でも重要である。

船の交通ルールでも同様のルーツに基づいて決められたスターボード艇優先の原則があり、原則として右側通行である。(用例 JP より引用)

知るべき水域での優先順位

優先順位（下位が上位を避ける）	
船舶（動力）	沿岸スポーツ類（非動力含む）
第一優先 運転不自由船 操縦性能制限船	第一優先 SWIMMER(遊泳者)
第二優先 漁労に従事している船舶	第二優先 surfing
第三優先 帆船	第三優先 Paddle Sports (Kayak, Sup)
最も優先順位が低いのが通常の動力船	第四優先 Wind Sports (windsurfing, kite, wing)
	第五優先 水上オートバイ

（この法律では、動力船の大きさによる区別はないが、大型船は操縦性能が良くないため、小型船が遠くで大型船を避け、衝突の恐れがないように努めましょう）

ウィンドサーフィンを楽しむためには下記にも注意（再確認お願いします）

- 気象・海象 天候の変化に注意は必要
- 体調管理 寝不足や体調不良だけでなく、熱中症や低体温症、持病にも注意しよう
- 道具の管理 ウィンドサーフィンにおいては、ジョイント関連の事故が本当に多いです！！
- 自分の居るグレンデ（救助要請場所説明できますか？） 高台や避難経路、ローカルルール等の確認は？
- 技量の確認 風速や波高大丈夫ですか？ テトラポットや岩場に流されませんか？ やめるのも勇気
- 安全の確保 ライフジャケット・レスキューシート・笛持つ、ウェットスーツ等適正ですか？
- 見守りの確保 連絡手段ありますか？ 仲間は同行していますか？ 遭難しても気づかれない事も！！
- 要救助者となる 救助要請を出された時点で要救助者や遭難者とみなされる事を理解して下さい。
救助される際、人命最優先、道具は後回しとなります。救助機関の指示に従う事。
救助される際、船のスクルー、水上オートバイの場合はロープ吸い込みに注意！！

